

大和郡山 防災ニュース 29.11月

このニュースは、市内で防災に関わる住民の皆さんに、様々な取組や防災情報を提供します。

市内自主防災組織巡り 杉町自主防災会会長にお話を伺いました！

今月は、筒井地区で活動中の杉町自主防災会の古谷会長及び巳之上副会長森事務局長にお話を伺いました。

～おまつりの延長が防災、地域が仲良くなってこそ防災も進む！～

杉町は、市の中央部、近鉄郡山駅と筒井駅の間で佐保川右岸流域の田園地帯に位置しており、世帯数100戸余、人口約300人の集落です。

杉町自治会が防災活動を進展させるきっかけになったのは、自治会長自身が防災活動の活性化を長年の懸案事項としていたこと、そんな中で東日本大震災を初めとして日本各地で起こる地震や洪水による大災害の報道に接し、改めて、「いずれ我が身」の感と捉えたことからでした。ところが、従来、筒井地区での災害といえば水害。はるか昔は杉町の集落も佐保川の畔にあったことから、水には注意を払ってきたのですが、地震まで想定するとなると、なかなか理解を得られなかったという経過があったそうです。しかし集落内にも賛同者が増え、防災スタッフにも恵まれたことから活動が活発となってきました。

杉町の自主防災活動で特筆すべきなのは、防災訓練への住民の参加率です。

第1回（平成21年）82世帯89名（世帯参加率約70%）

第2回（平成23年）61世帯80名（世帯参加率約50%）

第3回（平成24年）51世帯69名（世帯参加率約45%）

第4回（平成26年）66世帯80名（世帯参加率約57%）

第5回（平成28年）64世帯92名（世帯参加率約55%）

地域の防災訓練世帯参加率といえば、1～2割というところも多いなかで、概ね50～70%の参加率には地域の結束力や関心の高さを感じます。これには、8つある班の班長さんが個別に声をかけて参加を促す地道な努力も見逃せません。

杉町は昔から代々の住民は約20軒で、8割以上の住民がここ数十年の間に移り住んできた人たちです。しかし、地域の行事では新興住民にも積極的に参加を呼びかけています。自治会主催のおまつりは、正月と夏、秋の3回で、班を編成してつくった5つのグループで順番に開催事務を担当しています。このような活動の延長線に防災があるということなのです。防災訓練の内容は避難訓練や避難所設営、炊きだしであり、安い予算でたくさんの住民がコミュニケーションを取ることができるものです。おまつりから防災へ、そして防災から地域コミュニティーの進展という好循環になっています。

～防災の拠点づくりに住民が尽力！～

杉町の地域防災の拠点は神社境内の集会所です。ここを中心に自治会長、

副会長、事務局と防災委員17名の組織で防災活動を行っており、うち4名は救命救急士講習を受講しています。また集会所建設に当たっては広く地域住民からも寄付が寄せられました。また、宝くじの社会貢献事業であるコミュニティ助成事業を活用し、発電機、チェンソー、ポンプ、投光器、テント、車イス、ポータブルトイレ、救急薬品、工具類などの防災用品を購入し、備えてきました。防災訓練もちろん、この集会所を中心に行われています。

～世帯単位が基本の安否確認！～

避難の際の安否確認は班毎に行います。班長が一次避難所に集まってきた住民に対して、各世帯単位にその報告を受け、誰も来ていない世帯については家まで確認に行くこととなっています。

また、要支援者対策についても、単に年齢の輪切りで判断するのではなく、普段から各班が行っている地域の一人暮らし高齢者などへの見守り活動や、昔ながらの、「向こう三軒両隣」の絆による情報により把握した、本人の体力や疾病、家族の状況などに合わせて、災害時の支援をどうするか、助けに行くなら誰が行くかを定めるなど、行政の名簿ではなかなかできない細かい配慮を行うことができるということなのです。

～この灯を絶やさずに続けていきたい！～

防災活動を進めている中で悩みはないですか？との質問に、今のところ特にないなあ、ただ最近も若い世代が転入してくれてくれるものの、総じて集落の平均年齢が上がってきているのは心配です。今後は定年を過ぎて時間に余裕のできた世代の中から後継者を見つけて育てていかねばならない想いは持っていますとのことでした。

また、防災訓練も少しずつ課題を増やしてきているが、従前の、シナリオに沿ったかたちのものから、そろそろ本番に即した、それぞれの班が臨機応変に考えて行動する訓練や予告無しの訓練などを考える時期が来ているように思いますし、マンネリを打破する必要があるというお話しでした。

編集後記

今回の取材日は台風21号が通過し、市役所に泊まり込んだ翌朝で、1時間の睡眠でしたが、事前の約束でしたので会長宅に出向き、2時間ほどお話を伺いました。ところが後で聞くと取材を受けていただいた3人の役員さんも佐保川の増水による樋門の番で昨夜1時間しか寝てなかったとのこと。私どもへのお気遣いで取材させていただいたのでした。役員の皆さん、お疲れのところありがとうございました。

大和郡山防災ニュースは、市のHPでもご覧になれます

大和郡山防災ニュース	検索
------------	----

↗

消防団のニュースは、『大和郡山市消防団へようこそ！』をご覧ください！

大和郡山市消防団へようこそ	検索
---------------	----

↗

発行人 市役所市民安全課